

2020年夏号

(第10号)

多良岳福祉園 通信



社会福祉法人

佐賀西部コロニー



障害者支援施設 多良岳福祉園
佐賀県藤津郡太良町大字大浦乙 1410-2
TEL 0954-68-3311 FAX 0954-68-3312

新型コロナウイルス 感染症予防強化対策中



2020年4月から7月までの主な出来事

- 4月3日 「新型コロナウイルス感染拡大防止対策 Ver2について」 協力をお願い
- 4月8日 「新型コロナウイルス感染拡大防止対策 Ver3について」 協力をお願い
- 5月2日～6日 各種余暇活動を実施
※多良岳通信第9号で紹介
- 5月8日 「新型コロナウイルス感染拡大防止対策 Ver4について」 協力をお願い
- 6月3日～7日 利用者様の一斉帰宅支援の実施
- 7月6日 太良町大雨特別警報発令 ※週末まで避難勧告発令
- 7月11日 「新型コロナウイルス感染拡大防止対策 Ver5について」 協力をお願い
- 7月17日～22日 5班に分かれ鹿島市へマクドナルドと買い物。
- 7月25日 佐賀西部コロニー 家族会総会 ※7月11日より延期



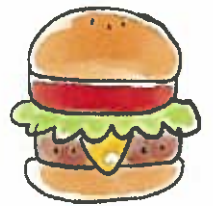


余暇活動

「5班に分かれて鹿島市へマクドナルドと買い物」

7月17日（金）～22日（水）

今年は施設旅行へも行けず、うつうつとした気持ちが続いていました。少しでもリフレッシュが出来るように、出来る限りの感染症予防対策を考え、平日にお隣の鹿島市にプチドライブに行きました。マクドナルドでドライブスルー、そして公園で食事。そして買い物。天候を見ながら作業班毎で楽しい時間を過ごしました。





＜サツマイモの苗、元気に育っています＞



今年も海水サツマイモの時期が始まり、委託農家24,800本、自家用15,000本の苗配布を行いました。定植もすみ、暑さに負けずサツマイモも元気に育っています。



＜しいたけ栽培用のミキサーを修繕＞

5月下旬、しいたけ栽培用のミキサーが老朽化で破損し、詰め込み作業ができず、菌床ブロックを作ることができなくなりました。菌床ブロックがないと数ヶ月後にはしいたけの収穫ができなくなります。待ちに待ったミキサーが新品のように修理され、7月1日より再び詰め込み作業ができるようになりました。農産部一同喜んでいきます。



＜野草部門も工芸部門もがんばってます＞

今年はよもぎ、どくだみと例年以上に収穫ができています。工芸部門との連携もとれ、今年の野草部門は今から楽しみです。またみなさんリハビリ訓練もがんばっています。



＜散髪について＞

これまでは定期的に理容師さんが施設に来て散髪をしていただいていたのですが、コロナの影響による入室制限で、理容師さんを呼ぶことができなくなりました。その為、施設の近くの美容室で格安でカット・カラーをして貰っています。美容師さんにも慣れ、地域の方と触れ合う機会にもなり良かったです。



＜食堂テーブルのレイアウト変わっています＞

朝、昼、夕の食事を今までは向き合って食べていましたが、コロナウイルスの感染予防対策で、横並びで食べるようにしています。

始めは背中を見て食べる食事に違和感がありましたが、今ではこのスタイルが普通になりつつあります。

<今年の目標は「労働災害事故”0”>

4月より就労安全管理者になりました中溝です。令和2年度の就労安全管理の目標を「労働災害事故”0”」と掲げております。新型コロナウイルス対策と平行してリスクマネジメント会議等を通じ、職員一同利用者様の健康と安全を念頭に置き、ご家族様の期待に応えるよう取り組ん参ります。



就労安全管理者 中溝 康隆
看護師 池田 サチコ



<災害を想定した訓練の実施>

新しい避難場所で定期的に避難訓練を行っています。昨年度は災害に見舞われた年でしたが、これからは台風などの接近が想定されますので、災害を想定した避難訓練も計画的に行っていこうと思います。

防災・防犯管理者 大畑 哲也



新型コロナウイルスの影響で帰宅できない利用者様が例年より多く、今年のゴールデンウィークはたくさんの方が施設で過ごされました。

多良岳通信第9号（連休特別号）でご紹介しましたが、バーベキューやパンケーキ作りなどを企画し、想像以上の利用者様に参加してもらい、次はタコ焼きパーティーやドーナツ作りをしたいとたくさんの要望も聞いています。

とても思い出に残る連休だった気がします。

栄養士 岩本 梨沙



エネルギー	2040 kcal
タンパク質	16.0g
カルシウム	67.0mg
鉄	7.8mg
ビタミンA	813 μgRE
ビタミンB1	1.26mg
ビタミンB2	1.42mg
ビタミンC	10.0mg

栄養量の給与目標量
令和2年5月～



多良岳福祉園 新型コロナウイルス感染拡大予防対策 の内容について (令和2年7月末現在)

連日の猛暑の中皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて夏期休暇中に帰宅された利用者様が、元気に施設に帰ってこられました。帰宅中、家族様には新型コロナウイルス感染症予防対策の様々なご支援、ご協力をいただきましたこと心より感謝を申し上げます。

多良岳通信第10号の発刊に当たり、改めて現在の感染症予防対策の内容について説明をさせていただきます。

佐賀県では3月13日に新型コロナウイルスの感染者の報告がされて以来、一時は落ち着いたものの、今や連日のように感染者の報告がされています。特に緊急事態宣言が解除されてからは、経済活動の復興による県を越える往来の増加と共に感染者が拡大しています。こうした中、佐賀西部コロニーにおいては、もし施設内で感染者が発生した場合、利用者様はもとより、ご家族様や職員、更には地域の皆さんに甚大なる不安とご迷惑をお掛けすることはかりしれません。こうしたことから、少しでも感染リスクを低くするため、佐賀西部コロニー全職員に次のような厳しい行動の自粛をお願いしております。

1. 毎朝の体温測定の実施
2. 外出時の各自の行動記録と感染（及び濃厚接触）時の記録の提出
3. 発熱及び体調不良時の通院と自宅での療養
4. 法人指定地域への外出の自粛（8割以上の都道府県への自粛）
5. 法人指定地域からの来訪者との接触自粛

特に4項と5項においては、感染が拡大している現在、**生活圏域以外の方との接触を自粛**していただいていることを意味します。こうしたことで、家族様に利用者様の安全を確保する職員の努力と同様のご協力をお願いした次第です。高知県では、当法人の理解者である施設で、クラスターの発生がありました。当法人同様の感染予防対策に取り組んでいた中での発生です。どんな対策も100%のものはありません。ただ100%に近づけることはできます。いま私たちができる最善の対策をこれからも精一杯行って参りますので、引き続き予防対策への取り組みにご理解とご協力を頂きますようお願いいたします。

令和2年8月

多良岳福祉園
管理者中尾富嗣





サービス管理責任者

4月より新たなメンバーで令和2年度上期の支援に向けてスタートを切りました。職員それぞれが利用者様の幸せを願って日々支援をおこなっています。

ご心配等ありましたらご相談ください。

サービス管理責任者 大畑哲也



4月誕生日の方 (5名)



5月誕生日の方 (5名)



6月誕生日の方 (4名)



7月誕生日の方 (6名)



多良岳福祉園では、毎月その月に誕生日を迎える利用者様に対して、職員のメッセージを1ヶ月間ふれあいコーナーに掲示しています。また工芸班で制作した組紐やフェルト作品も飾り付けをしています。





職員紹介



氏名：池田 さちこ
いけだ さちこ

住まい：太良町

入職年月日：平成27年6月1日

支援部署：看護師

趣味：映画鑑賞、子どものサッカー観戦

これからの目標：

佐賀西部コロニーに入社して5年となりましたが多良岳福祉園では新人です。初心を忘れず、みなさんが施設で元気に楽しく過ごせるようにしていきたいです。



職員配置

2020年8月1日現在

職種	人数	備考
管理者	1名	
サービス管理責任者	1名	
生活支援課長	1名	
看護師	1名	
生活支援員	25名	
夜間生活支援員	2名	
栄養士	1名	
調理員	7名	
相談支援専門員	2名	
合計	41名	

※ご利用者数 58名



苦情・相談内容

・血圧測定をお願いしているが、血圧手帳に測定値の記入がされていない。

(家族様)

これまでは複数の職員が交代して血圧測定の支援をしていましたが、健康指導として看護師が専属で行うようにしました。これにより、看護師が休みの時、計測が行われていませんでした。看護師不在の時も引き継ぎをおこない、実施するようにいたします。

厳しい声もしっかり受け止め、ご意見を大切にしていまいります。お気付きの点がありましたらぜひご相談ください。

あしがき

夏期休暇が終わり、利用者様が元気に施設に帰ってこられました。ほっとした気持ちと町内でも県外ナンバーが頻繁に見られたお盆期間で、新型コロナウイルスの感染拡大が心配です。今後も感染予防強化対策中として利用者様の安全のために取り組んでまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

互譲互助

社会福祉法人 佐賀西部コロニー 経営方針

